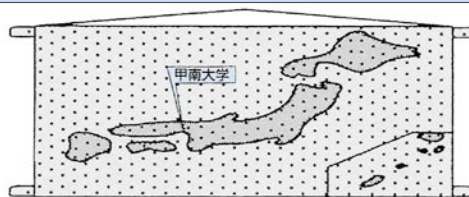


Zephyr

〈第43号〉

ゼフィール・にしかぜ


<http://www.kilc.konan-u.ac.jp>

《特集*“Yes, you can!” 君もできる!!!》

☆所長からのメッセージ あなたも使える・話せる外国語能力を身につけよう!!	胡 金定	1
〔英語〕 How to Improve Your English at Konan	伊庭 緑	2
〔ドイツ語〕 ドイツ語学習のガイドラインと到達目標 『大学在学中に何ができるのか?』、『何を目標にすればよいのか?』、『どのように自分の能力を判定できるのか?』	柳原 初樹	3
〔フランス語〕 「ここまで取得できる! フランス語の資格! OUI, VOUS POUVEZ!」	中村 典子	5
〔中国語〕 甲南大学の中国語教育	石井 康一	6
〔韓国語〕 韓国語4年間の学習でこんなに上達する!	胡 金定	7
〔日本語〕 留学生の日本語挑戦 ワクワク、ときどき! むずかしいけど楽しいよー	原田 登美	8

あなたも使える・話せる外国語能力を身につけよう!!

国際言語文化センター所長 胡 金定

本センターは今年、設立から15年を迎えました。「複数の言語の修得を通して、異文化と自文化を理解する広い視野を育み、言語や文化の多様性を尊重する複眼的な思考と価値観を育成する」という設立趣旨を貫き、全学の外国語教育を担ってきました。この教育理念に基づき、次の5つの基本目標を立て、外国語教育及び言語文化教育を実施しています。

1. 国際共通語としての英語とともに、ヨーロッパ言語（ドイツ語・フランス語）またはアジア言語（中国語・韓国語）を修得し、複数の言語の「読む・書く・聞く・話す」という4技能の運用能力を伸長させる。
2. 学習者中心、双方向でコミュニケーション的な授業を実践する。
3. 言語文化教育を通して国際理解・異文化理解を深め、国際人としての教養と自己表現能力を養い、世界の人々と共存できる資質を育成する。
4. 留学生への日本語教育を通じて、世界の人材養成に貢献し、本学学生の国際化・活性化に繋げる。
5. 多様な言語文化教育を地域社会に提供し、開かれた大学として生涯教育に貢献する。

15年来、カリキュラムの開発及び教授法の研究も重ねてきました。外国語表現力の充実に重点に、学術や国際交流、卒業後のビジネスなど幅広い分野において学習者の目標言語のコミュニケーション力（会話力）や読解力を高めることに尽力してきました。『大学ランキング2009（『週刊朝日』進学MOOK）737校完全ガイド』という調査のなかで、外国語に対する満足度は全国第10位にランキングされています。5年前の調査では全国第15位にランキングされていたのに比べて5年で5位も躍進してきました。

設立当初から外国語のプロフェッショナルな人材を養成するために、さまざまな試みを行ってきました。15年間にわたって蓄積してきた本センターの先進的な学習者中心、双方向でコミュニケーション

な教授法による使える・話せる外国語教育は徹底しています。外国語担当教員の教育意欲は高く、専任教員と非常勤講師が丸となって強力な人的外国語学習支援ネットワークを築き上げています。また、複数言語の修得を目指してよりよい言語教授法を開発しています。英語と他の言語との教育競争によって、お互いにより刺激を与えています。学習者は複数の外国語を学ぶと同時に英語圏の文化及び英語圏以外の文化に触れる機会を持ち、異文化理解を深めています。

本センターは学習者の個性を生かしながら、4年間の大学生活の中において外国語に対する興味、継続的な学習意欲を喚起することに努めています。そして、最終的には誰でも使える・話せる外国語能力を身につけて卒業していきます。さらに、「外国語に強い、高度な外国語運用能力を持つ学生」を養成するため、さまざまな手法を導入しています。個々の授業や科目における到達目標の設定、共通の進度、教授法の共有化、共通の試験項目、複数の基礎クラスの科目教科書の統一、90分授業における最大効果の追求、成績評価の厳格性・客観性の確保などにより、外国語の教育効果を検証し、学士力を保証しているのです。

今後とも外国語学習4技能「読む、書く、聞く、話す」をバランスよく伸長させる外国語教育を堅持していきますので、学生諸君、ぜひ外国語を受講して「使える・話せる外国語能力」をマスターしましょう。“Yes, you can!”を実感してください。あなたならできると確信しています！

How to Improve Your English at Konan

国際言語文化センター准教授 伊庭 緑

甲南大学の英語教育プログラムは皆さんが実践的な英語運用能力を身につけて、グローバルな視点でものごとをとらえ、異文化理解を深めることを目標としています。大げさに響きますが、実際どんなプログラムが用意されているのでしょうか。簡単にご紹介します。

甲南の英語の科目は「[基礎英語](#)」、「[中級英語](#)」、「[上級英語](#)」に分けられます。

「基礎英語」は1年生全員が履修する必修科目です。「基礎英語Ⅰ」は、大学生にふさわしい専門的な文献に接するための基礎的英語読解力の向上を目指し、「基礎英語Ⅱ」は、実際に話されている英語を聞き取り、さまざまな場面で英語を使ってコミュニケーションができることを目指します。（「基礎英語ⅡA」リスニング、「基礎英語ⅡB」オーラル・コミュニケーション）

「中級英語」は、「基礎英語」を履修した人が履修する選択科目です。以下の表をご覧ください。

科目名	学習内容	特徴、目標など
中級英語リーディング	長文を読み、語彙を増やす。速読、大意把握、要約等を重視。	課題図書から学生が選んだ洋書のブック・レポートを課す。基礎レベルより高度な英語の文章を扱う。
中級英語リスニング	ディクテーション、シャドウイングなどを行なう。	マルチメディア教室で行なわれる。ニュース、インタビュー等の英語が聴き取れることを目標とする。

中級英語オーラル・コミュニケーション	ディスカッションやロールプレイなどを行なう。	英語を母語とする教員が担当し、英語で自分の意見を表明し議論ができることを目標とする。
中級英語スピーチ・コミュニケーション	英語のプレゼンテーションの技法を学び実際に発表する。	スピーチの構成、種類などを学び、英語の簡単なスピーチができることを目標とする。
中級英語ライティング	パラグラフ・ライティングの技法を学び、文章を書く。	英語の基本的なパラグラフが書けることを目標とする。
中級英語TOEIC	TOEICの過去問題、練習問題を扱う。	全体を3つのレベルに分けて習熟度別クラスを編成。AV（準上級）500～600点以上、IM（中級）450～500点以上、PI（初級）400～450点以上という目標スコアを設定。
中級英語TOEFL	TOEFLの過去問題、練習問題を扱う。	英語圏に留学する際に必要なTOEFLのスコアを上げることが目標。問題を解いて傾向と対策を探る演習方式。

さて「中級英語」を2科目以上履修した人はさらに「上級英語」に進むことができます。「上級英語」では上記の「中級英語」と同じ科目名の科目もありさらに高度な内容を扱っていますが、以下のような上級英語にしかない科目もあります。ぜひ上級英語まで履修して英語の力をつけてください。

上級英語グローバル・トピックスⅠ、Ⅱ	さまざまなテーマで調査研究を行い、リサーチ・ペーパーを書き口頭発表、討論する。	国際的に重要な問題を自ら調査研究することで問題意識を深め、自律的な学習を行なう。
上級英語翻訳	前期は基礎を学び、後期はビジネス、小説、映画字幕などを扱う。	翻訳の技法を学び、自然で誤訳のない翻訳ができることを目標とする。
上級英語通訳	同時通訳の技法を学ぶ。	同時通訳の技法を基礎から学ぶ演習形式。基本的な通訳ができることを目標とする。

ドイツ語学習のガイドラインと到達目標

『大学在学中に何ができるのか?』、『何を目標にすればよいのか?』、『どのように自分の能力を判定できるのか?』

国際言語文化センター准教授 柳原初樹

甲南大学では1年次で基礎ドイツ語Ⅰと基礎ドイツ語Ⅱを履修した後に、中級ドイツ語、そして3年次からは上級ドイツ語を履修することができます。また、ドイツの言語と文化についてゼミ形式で学習できる科目も用意されています。タイトルで挙げた3つの疑問を具体的に説明していくことにしましょう。

1) 『大学在学中に何が出来るのか?』

3年間もしくは4年間で、基礎、中級、上級ドイツ語を履修することができます。そして、「読む、書く、聞く、話す」能力をバランスよく養うことを目標にしています。また、『言語と文化ドイツ』

を履修することができます。毎年夏休みを利用してドイツで開講される「海外語学講座Ⅱ ドイツ」を履修することもできます。さらに、意欲のある人には、ベルリンのフンボルト大学に交換留学生として1年間の留学の道も用意されています。

毎年2回行なわれるドイツ語技能検定試験（甲南大学で受験可能）やオーストリア政府公認ドイツ語試験などを受験することができます。授業以外にも、ドイツ人留学生によるチューター制度（無料）を利用して、リラックスした雰囲気、ドイツ語の会話を学んだり、ドイツの若者文化に直接触れたりすることができます。また、ドイツ人留学生も交えてのドイツ語合宿プログラム（平生記念セミナーハウス）も用意されています。甲南大学での外国語学習カリキュラムは充実しており、これを最大限、有効に活用して欲しいです。

2) 『何を目標にすればよいのか？』

1年生の基礎ドイツ語の教科書は、EU（欧州連合）での共通評価基準枠の基礎段階であるA1の到達を目標にしています。ドイツでの学生生活において遭遇するであろう基本的な場面を設定して教科書を作成しています。この教科書をマスターすれば、EUでも認定された基礎力A1のレベルを達成したと認めていただけて結構です。1年生の間は、ドイツ語の発音、独自の文章構造、造語などについて関心を持って、基本的な語彙や

文型をマスターし、テキストの内容を理解したり、ネイティブの先生の話を理解したり、簡単な文章やEメールを書いたり、先生の基本的な質問に口頭で返答できるように務めてください。

中級では、もう少し複雑な文章の理解や作文(中級Ⅰ)、1年次のコミュニケーション(聞く、話す)内容の発展を中級Ⅱで目指します。目指すのは、先ほどのEU基準のA2です。ドイツ語技能検定では4級若しくは3級です。そして、3年次以降は、上級ドイツ語で、その能力をさらに養います。目標はA2からB1です。ドイツ語技能検定では3級から2級です。中級以降のリーディングの授業では、辞書の使用頻度が増えます。ドイツ語圏の社会、文化、映画、ニュースなどの内容を、辞書を使用しながら学習する自立性を目指して欲しいです。

3) 『どのように自分の能力を判定できるのか？』

以下の外部検定試験などにより、自分の実力を知ることができます。

段 階	CEFR基準	外部評価試験
基礎ドイツ語	A1	Start Deutsch 1
中級ドイツ語	A2	ドイツ語技能検定3 / 4級 Start Deutsch 2, OESD Grundstufe
上級ドイツ語	A2からB1	ドイツ語技能検定2 / 3級 Zertifikat Deutsch

詳細を知りたい方は、毎週水曜日のお昼休みにドイツ語学習指導室（6号館5階652教室）にドイツ語教員がいますので、気軽に訪ねて来てください。



「ここまで取得できる! フランス語の資格! OUI, VOUS POUVEZ!」

国際言語文化センター教授 中村典子

フランス語を学んでいる皆さん、自分のフランス語の力を客観的に示すことができる資格を在学中に取得してみませんか? 「基礎フランス語」の授業に続いて、「中級フランス語」「上級フランス語」の授業を受講し、フランス語の力を伸ばすことで、**一生有効な資格を取得することが可能**です。まず、甲南大学のフランス語の授業の到達目標と、**文部科学省後援「実用フランス語技能検定試験」(略称「仏検」)**との関係を説明します。

	履修する科目	“修了時点”での到達目標	備考
1 年次	「基礎フランス語Ⅰ」 「基礎フランス語Ⅱ」	仏検「5級」合格レベル	
2 年次	「中級フランス語Ⅰ」 「中級フランス語Ⅱ」 「中級フランス語Ⅲ」 「中級フランス語Ⅳ」	仏検「4級」または仏検「3級」合格レベル *ただし、2科目以上の履修者	「中級フランス語Ⅲ」では、仏検対策に重点が置かれている。
3 年次 4 年次	「上級フランス語Ⅰ」 「上級フランス語Ⅱ」	仏検「3級」または「準2級」合格レベル *ただし、2科目以上の履修者 *長期留学希望者は、留学までに、仏検「2級」に挑戦すること。	「上級フランス語Ⅰ」では、仏検対策に重点が置かれている。

単に授業を漫然と受講するだけでは、資格試験に合格することは困難です。しかし、皆さんの多くの先輩は、**<非常に熱心に>**フランス語の学習に取り組み、検定試験に挑戦し、合格しています。こうした資格が就職活動や進学に役立つことは言うまでもありません。なお、「英検」と同じく、「仏検」は**<一生有効な資格>**ですから、一旦取得すれば、履歴書にずっと記載することができます。ただ、検定試験に順調に合格するためには、授業で与えられた課題や宿題に取り組むだけでなく、授業以外での自習もある程度は必要です。「仏検」の個別対策については、専任教員に相談してください。

<マルチメディア自習室・フランス語学習相談アワーの活用>

- * 6号館3階のマルチメディア自習室には、仏検の過去問題集や参考書が揃っていて、視聴覚教材(フランス映画やフランス語のPC学習ソフト)もありますので、授業の空き時間を利用して自習してください。
- * 授業開講期間中の**毎週木曜日の昼休み<12:20~50>**は、6号館5階652のドイツ語・フランス語学習指導室で**<フランス語学習相談アワー>**を開いていますので、ぜひ立ち寄ってください。フランス語の参考書や問題集、易しい読み物なども紹介して、貸し出しをしています。
- * 仏検の問題集・参考書の**<個別貸し出し>**については、専任教員のシッシュ先生と中村が対応します。授業で会ったことがなくても、気軽に研究室を訪ねてくださいね。(シッシュ先生:6号館7階672研究室、中村典子:673研究室)

卒業までに一定の資格を得ることを目標とし、これまで以上にフランス語に熱心に取り組んでください。

BONNE CHANCE!!

甲南大学の中国語教育

国際言語文化センター准教授 石井 康一

○甲南大学の中国語教育は、基礎科目として基礎中国語Ⅰ・Ⅱ、基礎を履修した学生に対して中級中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、中級を一つでも履修した学生に対しては上級中国語Ⅰ・Ⅱが開設されています。

○中級中国語の科目構成は次のようになっています。

中級中国語Ⅰ (リーディング)	今日実際に使われているさまざまなジャンルの中国語の文章を読むことを通して、生きた中国語の文章に馴染み、読解力の向上を目指す。
中級中国語Ⅱ (コミュニケーション)	実用的な会話能力を養成する。中国の話題を中心に、中国語で自分の意見を発表したり、討論したりするトレーニングも行なう。
中級中国語Ⅲ (実用中国語)	商業・貿易、時事問題やニュースなどを題材として、実用的運用能力を習得する。
中級中国語Ⅲ (検定準備コース)	中国語検定4級・3級への合格を目指して、検定対策などを含めた総合的な学習を行なう。
中級中国語Ⅲ (リスニング)	聞く力の養成に重点を置いた教科書とともに、映画・テレビ等を副教材に用い、リスニングの能力を養成する。
中級中国語Ⅳ (中国事情)	幅広い分野のテーマを取り上げ、中国文化の習得と中国語の学習が同時にできるように工夫する。

○それぞれの授業の到達目標は以下の通りです。

基礎中国語Ⅰ・Ⅱ 修了時点で「中国語検定試験」準4級、「HSK（漢語水平考試）」1級

中級中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 修了時点で「中国語検定試験」4級、「HSK」2級

上級中国語Ⅰ・Ⅱ 修了時点で「中国語検定試験」3級、「HSK」3級

○基礎中国語・中級中国語は科目ごとに共通の教科書を使用し、教育内容の共通化・明確化を図っています。それに対して上級中国語は、科目としてはⅠとⅡの二つですが、8クラス開講しており、8人の先生が各自の教材でそれぞれ高いレベルの授業を展開しています。これは学習意欲のある学生に対して、できるだけ多くの学習機会を提供するねらいが含まれています。履修できるのは2科目ですが、8つの上級中国語の授業を受けることも可能なのです。たとえば就職活動を終えた4年生の人も、「単位はいりませんが勉強したいので聴講させて下さい」と先生のところを訪ねて行って下さい。後期からでも結構です。われわれ教員は、やる気のある学生を歓迎します。

○中国語学習相談アワー（月曜日お昼休み、6号館5階の中国語・韓国語学習指導室にて）、チューターの時間（場所は同じ、日時は掲示板等を参照）、中国への擬似的留学体験を目指した2泊3日の「楽しく集中的に中国語を学ぼう！中国語強化合宿」（秋に開催、平生記念セミナーハウス）など、中国語学習者のためのいろいろな機会が用意されていますので、ぜひ積極的に活用して中国語に取り組んで下さい。

韓国語 4年間の学習でこんなに上達する！

国際言語文化センター所長
(韓国語代表代理)

胡 金 定

4月入学時に、映画や有名人のインタビューを生の声で聞き取ることができたら、また韓国語でファンレターを書くことができたらいいのかなあなどの理由から、韓国語を選択した受講生も少なくないと思います。

では、甲南大学において、段階的かつ継続的に、「基礎」「中級」「上級」の韓国語科目を4年間学習することによって、卒業までにどんな力が備わるのでしょうか…。

1年次では、読解を中心とする「基礎韓国語Ⅰ」と、会話中心の「基礎韓国語Ⅱ」を履修します。「基礎韓国語Ⅰ・Ⅱ」は、文字（ハングル）の組み立てや発音の学習からスタートし、1年間で読解や会話に必要な基本的文法をほぼマスターすることができます。

2年次以降は「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」を、3年次以降では、さらに「上級韓国語Ⅰ・Ⅱ」を自由に選択履修できます。

具体的には以下の表のとおりです。

中級韓国語Ⅰ (読 解)	読解（翻訳・作文）	基本的韓国語読解力を身につけ、分かりやすいエッセイや新聞記事を把握する。
中級韓国語Ⅱ (日 常 会 話)	会話（日常会話・聞き取り・ロールプレー）	韓国語で日常生活レベルの会話や聞き取りができる能力の養成を目指す。
中級韓国語Ⅲ (検 定 準 備)	韓国語検定準備コース	「ハングル能力検定」4級や「韓国語検定試験」2級に合格するための実力をつける。
中級韓国語Ⅳ (韓 国 事 情)	韓国事情（歴史・政治・経済・社会・文化）	韓国の歴史・政治・経済・社会を総合的に学習して異文化の理解を深めることを目指す。
上級韓国語Ⅰ (リーディング・実用韓国語)	ハイレベルの読解（翻訳・作文）、韓国語検定準備	難度の高い韓国語文章を把握する読解力を養って、「ハングル能力試験」の3級及び「韓国語検定試験」3級以上の水準を目指す。
上級韓国語Ⅱ (実践的会話)	実践的会話、同時通訳	韓国のニュース、映画を教材にして、韓国語の言い回し、早いスピードの書き取りの練習を通じて、同時通訳の能力を養う。

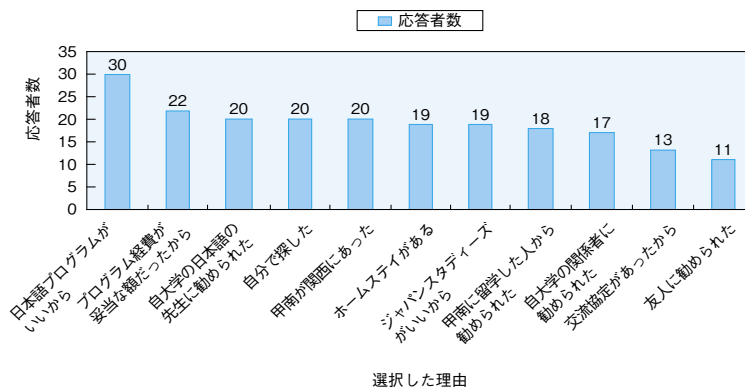
4年間しっかり韓国語を学習して力をつけ、活動する世界を広げてほしいと思います。

留学生の日本語挑戦 —ワクワク、どきどき! むずかしいけど楽しいよ—

国際言語文化センター教授 原田 登美

甲南大学には毎年9月に留学生が50名ほど来日します。留学生は約9ヶ月の間、甲南大で日本語の授業と日本に関する講義を受講します。しかし、彼らが教室で学ぶことは、日本での学びのほんの一部です。彼らが日本留学で学ぶことは日本での総体的な生活です。異なる文化圏で生活することで、自分がどのような影響を受けて、変容していくかという全人格的なことです。したがって、下の表の「(留学先に) 甲南大学をなぜ選択したか」という質問で、「ホームステイがあるから」という回答が多いのは、留学生が日本人と共に生活することで、日本語をはじめ日本の文化、生活習慣、思考様式の中に留学で自分が何を学べるのかを見出しているからだと思います。

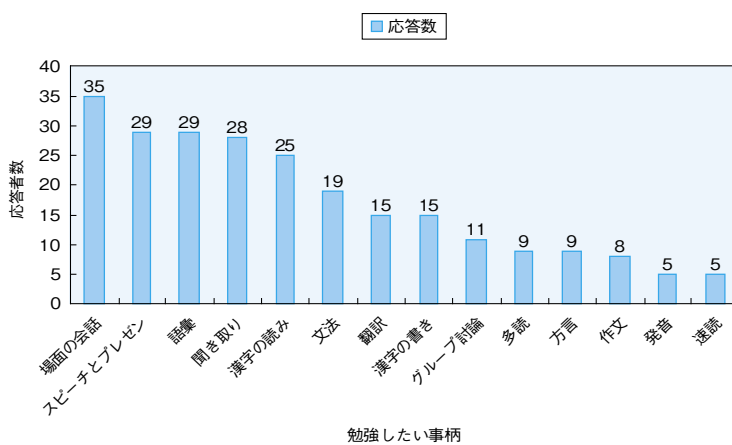
甲南大学をなぜ選択したか



選択した理由

中でも日本人と日本語でコミュニケーションをすることは、自分の国で学習した日本語が毎日の生活の中で試されるという経験なのですから、留学生にとっては、毎日がワクワク、どきどきの連続にちがいありません。でも、彼らは挑戦しようとしているのです。日本語を通して、異なる文化圏の人と互いに理解しあうことは、新しい自己を発見することです。留学生のアンケートでは、コミュニケーションの上達のために、下のグラフに示されるような項目をもっと勉強したいそうです。あなたはどんなことをもっと勉強したいですか。

日本語クラスで何を勉強したいか



勉強したい事柄